

## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月5日

上場会社名 株式会社 島津製作所 上場取引所 東  
コード番号 7701 URL <https://www.shimadzu.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 山本 靖則  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 理財部長 (氏名) 荒金 功明 TEL 075-823-1128  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	384,296	5.1	47,045	△7.3	49,158	△7.1	36,143	△7.5
2024年3月期第3四半期	365,623	7.7	50,747	10.8	52,913	9.5	39,055	8.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 38,112百万円 (△19.8%) 2024年3月期第3四半期 47,522百万円 (23.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	122.94	—
2024年3月期第3四半期	132.52	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	658,241	491,458	74.7
2024年3月期	673,962	492,335	73.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 491,451百万円 2024年3月期 492,331百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	36.00	60.00
2025年3月期	—	26.00	—		
2025年3月期(予想)				36.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	540,000	5.5	73,000	0.3	75,000	△2.5	58,000	1.7	199.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記予想に関連する事項については、添付資料P.5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社（社名）Zef Scientific, Inc. 他、除外 -社（社名）-

(注)詳細は、添付資料P.12「2.四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「2.四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	296,070,227株	2024年3月期	296,070,227株
2025年3月期3Q	6,030,775株	2024年3月期	1,348,202株
2025年3月期3Q	293,980,658株	2024年3月期3Q	294,705,005株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2024年11月7日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しています。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況 .....	2
(1)当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2)当四半期の財政状態の概況 .....	5
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1)四半期連結貸借対照表 .....	6
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(会計方針の変更に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	12
(連結範囲の重要な変更) .....	12
3. 補足情報 2025年3月期第3四半期 決算の概要 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻や中東紛争等の地政学リスク、中国経済の停滞やインフレによるコスト増加等、依然として不透明な状況が続きました。

このような経営環境のなか、グローバルで創薬研究や自国生産が進む医薬を中心としたヘルスケア領域では、液体クロマトグラフ、質量分析システム、分光光度計等が増加しました。グローバルで環境規制対策が進むグリーン領域では、PFAS分析向けに質量分析システムが伸長しました。マテリアル領域では、新素材開発向けに試験機が、インダストリー領域では、半導体製造装置向けにターボ分子ポンプや防衛分野向けに航空機搭載品が増加しました。

また、お客様(領域)中心志向への体制変革として、今年度から領域を軸とした営業本部制に移行しました。事業部間連携を強化し、ワンストップサービスでお客様へ最適なトータルソリューションを提供する営業活動を推進し、日本では売上高が1,589億9千6百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、円安進行による為替の押し上げも加わり、売上高は3,842億9千6百万円(前年同期比5.1%増)となりました。一方で、営業利益は、将来に向けた研究開発や人的投資等の成長投資を進めたことで、470億4千5百万円(同7.3%減)でした。経常利益は491億5千8百万円(同7.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は361億4千3百万円(同7.5%減)となりました。

各セグメントの経営成績はつぎのとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「航空機器」に含まれていた海洋機器関連の業績を、「産業機器」へ移管しています。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較分析しています。

## I. 計測機器事業

計測機器事業は、ヘルスケア領域で医薬や臨床検査向けに液体クロマトグラフ、グリーン領域でPFAS分析向けに質量分析システム、マテリアル領域でリチウムイオン電池や水素貯蔵等の新素材開発向けに試験機が増加しました。

地域別では、日本、北米、欧州、その他のアジア等の主要地域で伸長しました。

この結果、当事業の売上高は2,479億2千3百万円(前年同期比2.3%増)となりました。営業利益は将来に向けた成長投資を進めたことや、上期に行った生産抑制の影響により、338億2千3百万円(同17.0%減)となりました。

なお、主要地域別売上高の状況は下記のとおりです。

	2024年3月期 第3四半期 (百万円)	2025年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況	
日本	81,700	86,599	6.0	医薬向けに液体クロマトグラフ、質量分析システム、分光光度計、PFAS分析向けに質量分析システム、新素材開発向けに試験機が増加。	
海外	160,606	161,323	0.4	海外売上高比率が65.1%と1.2pt減少。	
主要 地域	北米	24,035	27,846	15.9	臨床検査、受託分析、PFAS分析向けに質量分析システムや、特定顧客向けに液体クロマトグラフが増加。また、連結子会社化したZef Scientific, Inc.の業績も貢献。
	欧州	28,984	30,349	4.7	臨床検査向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。
	中国	59,435	52,699	△11.3	政府の景気支援策により官公庁やアカデミア向けの需要が回復傾向にあるものの、医薬市場の需要減少や前年の政府支援策の反動により、液体クロマトグラフや質量分析システム等が減少。
	その他の アジア	34,985	35,868	2.5	韓国で官公庁向けに質量分析システムが減少した一方、インドの医薬や受託分析向けに、液体クロマトグラフが増加。

## II. 医用機器事業

医用機器事業は、北米でX線TVシステムが、その他のアジアでは一般撮影システムの新製品、血管撮影システムが増加しました。一方、日本や中国、欧州は市況停滞の影響を受け減少しました。

この結果、当事業の売上高は502億5千8百万円(前年同期比0.8%減)となり、営業利益は売上高の減少等により16億4千7百万円(同30.9%減)となりました。

なお、主要地域別売上高の状況は下記のとおりです。

	2024年3月期 第3四半期 (百万円)	2025年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況	
日本	23,551	22,763	△3.3	頭部と乳房の検査に特化したPET装置や放射線治療装置用動体追跡システムが増加したものの、市況回復遅れによりX線装置が減少。	
海外	27,110	27,495	1.4	海外売上高比率は54.7%と1.2pt増加。	
主要 地域	北米	7,438	7,672	3.1	病院の経営環境が持ち直したことにより、X線TVシステム、一般撮影システムが増加。
	欧州	3,693	3,505	△5.1	東欧でX線TVシステムや血管撮影システムが増加したものの、前年度回診装置大口案件の反動や市況悪化により減少。
	中国	4,383	2,922	△33.3	市況回復遅れの影響や、腐敗防止強化による入札案件が遅れたことで、X線TVシステムや一般撮影システムが減少。
	その他の アジア	5,173	6,225	20.3	東南アジアで、一般撮影システムの新製品、技術交流会等による認知度向上により血管撮影システムが増加。加えて、韓国で放射線治療支援システムが伸長。

### Ⅲ. 産業機器事業

産業機器事業は、ターボ分子ポンプが中国で太陽電池やエコガラス用薄膜製造装置向けに減少した一方、半導体需要の拡大に伴い日本、欧米、その他のアジアで半導体製造装置向けに増加しました。工業炉は中国で車載用セラミック製造向けに増加しましたが、油圧機器は市況悪化の影響を受け減少しました。

この結果、当事業の売上高は534億3千7百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益は売上高の増加により78億8千6百万円(同52.8%増)となり、いずれも過去最高を更新しました。

なお、主要地域別売上高の状況は下記のとおりです。

	2024年3月期 第3四半期 (百万円)	2025年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況	
日本	19,081	22,950	20.3	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが製品、サービス共に伸長。加えて、炭素製品製造向けに工業炉が増加。	
海外	28,266	30,487	7.9	海外売上高比率は57.1%と2.6pt減少。	
主要 地域	北米	6,143	6,328	3.0	半導体製造装置向けターボ分子ポンプがシェア拡大等により製品が増加すると共にサービスも伸長。
	欧州	3,191	3,218	0.8	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが製品、サービス共に増加。
	中国	14,843	14,470	△2.5	車載用セラミック製造向けに工業炉が増加したものの、前年増加した太陽電池用薄膜製造装置向けターボ分子ポンプの反動により減少。
	その他の アジア	3,886	6,341	63.2	半導体製造装置向けターボ分子ポンプの製品、サービス共に増加。電子基板用途ガラス繊維向けにガラスワインダが台湾で増加。

### Ⅳ. 航空機器事業

航空機器事業は、日本で政府の防衛力強化方針により、防衛分野向けが増加しました。海外で民間航空機搭載品等が拡大したものの、前年増加した補用部品の反動により減少しました。

この結果、当事業の売上高は279億8千8百万円(前年同期比36.5%増)、営業利益は売上高の増加や採算性改善により、40億6千7百万円(同46.1%増)となりました。

なお、主要地域別売上高の状況は下記のとおりです。

	2024年3月期 第3四半期 (百万円)	2025年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	14,378	21,999	53.0	防衛分野で政府の防衛力強化方針により、航空機搭載品が増加。
海外	6,121	5,989	△2.2	海外売上高比率は21.4%と8.5pt減少。
主要地域 北米	5,340	5,470	2.4	民間航空機搭載品や航空会社向け補用部品の需要拡大により増加。

### Ⅴ. その他の事業

当事業の売上高は46億8千8百万円(前年同期比2.5%減)となり、営業利益は4億4千万円(同34.7%減)となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ棚卸資産が110億7千9百万円、のれんが49億6千2百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が317億1千8百万円減少したことなどにより、157億2千万円減少し、6,582億4千1百万円となりました。また、負債は、支払手形及び買掛金が83億9千5百万円、賞与引当金が67億6千1百万円それぞれ減少したことなどにより、148億4千3百万円減少し、1,667億8千3百万円となりました。純資産は、利益剰余金が176億9千9百万円増加しましたが、自己株式の取得205億4千8百万円などにより、8億7千7百万円減少し、4,914億5千8百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗などを勘案し、2024年11月7日に公表しました予想を修正しています。

(単位:百万円)

	2025年3月期 連結業績予想	対前期 増減率	(参考) 前回公表時
売上高	540,000	5.5%	540,000
営業利益	73,000	0.3%	76,000
経常利益	75,000	△2.5%	77,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	58,000	1.7%	58,000

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	165,285	133,567
受取手形、売掛金及び契約資産	144,808	139,009
商品及び製品	83,333	87,058
仕掛品	26,021	30,308
原材料及び貯蔵品	32,418	35,485
その他	17,119	20,687
貸倒引当金	△2,049	△1,909
流動資産合計	466,936	444,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,326	56,886
機械装置及び運搬具(純額)	9,305	10,036
土地	22,408	22,186
リース資産(純額)	1,951	1,679
建設仮勘定	4,284	2,888
その他(純額)	25,287	27,604
有形固定資産合計	118,564	121,281
無形固定資産		
のれん	5,220	10,182
その他	12,793	13,175
無形固定資産合計	18,013	23,357
投資その他の資産		
投資有価証券	17,621	17,299
長期貸付金	205	241
退職給付に係る資産	36,247	36,684
繰延税金資産	10,946	9,571
その他	5,498	5,647
貸倒引当金	△71	△48
投資その他の資産合計	70,447	69,395
固定資産合計	207,025	214,034
資産合計	673,962	658,241

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,400	44,005
短期借入金	1,552	1,460
リース債務	3,478	3,458
未払金	17,100	17,252
未払法人税等	8,008	3,320
契約負債	50,221	52,195
賞与引当金	13,577	6,816
役員賞与引当金	435	254
株式給付引当金	-	26
その他	11,735	14,510
流動負債合計	158,511	143,301
固定負債		
長期借入金	66	18
リース債務	6,818	7,535
役員退職慰労引当金	161	127
退職給付に係る負債	14,158	14,294
株式給付引当金	35	63
その他	1,874	1,442
固定負債合計	23,115	23,481
負債合計	181,626	166,783
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	34,910	34,910
利益剰余金	376,400	394,099
自己株式	△1,109	△21,657
株主資本合計	436,850	434,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,203	6,722
為替換算調整勘定	31,441	35,782
退職給付に係る調整累計額	15,834	14,944
その他の包括利益累計額合計	55,480	57,450
非支配株主持分	4	6
純資産合計	492,335	491,458
負債純資産合計	673,962	658,241

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	365,623	384,296
売上原価	206,334	217,764
売上総利益	159,288	166,532
販売費及び一般管理費	108,541	119,487
営業利益	50,747	47,045
営業外収益		
受取利息	994	1,112
受取配当金	291	318
受取保険金	118	78
助成金収入	345	511
為替差益	745	726
その他	705	502
営業外収益合計	3,199	3,251
営業外費用		
支払利息	222	231
その他	811	905
営業外費用合計	1,033	1,137
経常利益	52,913	49,158
特別利益		
固定資産売却益	134	222
持分変動利益	17	47
投資有価証券売却益	49	-
特別利益合計	200	270
特別損失		
固定資産処分損	171	174
投資有価証券評価損	-	2
特別損失合計	171	176
税金等調整前四半期純利益	52,942	49,251
法人税、住民税及び事業税	11,811	10,950
法人税等調整額	2,075	2,158
法人税等合計	13,887	13,109
四半期純利益	39,055	36,142
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,055	36,143

四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	39,055	36,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,073	△1,481
為替換算調整勘定	7,832	4,341
退職給付に係る調整額	△438	△890
その他の包括利益合計	8,467	1,969
四半期包括利益	47,522	38,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,522	38,112
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

## (セグメント情報等の注記)

## 1)セグメント情報

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	242,307	50,662	47,348	20,499	360,816	4,807	365,623	-	365,623
セグメント間の 内部売上高	38	16	50	26	131	1,921	2,053	△2,053	-
計	242,345	50,678	47,398	20,525	360,948	6,728	367,677	△2,053	365,623
セグメント利益	40,760	2,384	5,162	2,784	51,091	674	51,765	△1,018	50,747

(注)1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、不動産管理、建設舗床業等の事業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△1,018百万円は、主に各報告セグメントに配賦しない試験研究費△1,018百万円です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	247,923	50,258	53,437	27,988	379,608	4,688	384,296	-	384,296
セグメント間の 内部売上高	27	14	61	30	133	1,761	1,894	△1,894	-
計	247,950	50,273	53,499	28,018	379,741	6,449	386,191	△1,894	384,296
セグメント利益	33,823	1,647	7,886	4,067	47,424	440	47,864	△819	47,045

(注)1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、不動産管理、建設舗床業等の事業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△819百万円は、主に各報告セグメントに配賦しない試験研究費△818百万円です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、業績管理区分を見直したことにより、従来「航空機器」に含まれていた海洋機器関連の業績を、「産業機器」へ移管しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分により作成したものを記載しています。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「計測機器」セグメントにおいて、新たに株式を取得したZef Scientific, Inc.を連結の範囲に含めています。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては5,280百万円です。

なお、のれんの金額は当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

## 2)関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
143,515	49,753	36,319	78,707	44,329	12,999	365,623

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
158,996	55,614	37,313	70,154	48,651	13,566	384,296

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州 : アメリカ  
 欧州 : イギリス、ドイツ  
 中国 : 中国  
 その他のアジア : インド、東南アジア、韓国、台湾  
 その他 : オーストラリア、中近東、アフリカ

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,681,800株の取得を行いました。この取得などにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が20,548百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が21,657百万円となっています。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、つぎのとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	13,851百万円	14,459百万円
のれんの償却額	412百万円	640百万円

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したZef Scientific, Inc.他2社を連結の範囲に含めています。

## 3. 補足情報

## 2025年3月期第3四半期 決算の概要

行 番		2024年3月期	2025年3月期	対前年同期		2024年3月期	2025年3月期	
		第3四半期	第3四半期			2024年3月期	2025年3月期	
		連結累計期間	連結累計期間	増減額	増減率	実績	予想	
1	売上高	百万円	365,623	384,296	18,673	5.1%	511,895	540,000
2	売上高(計測機器)	百万円	(242,307)	(247,923)	(5,616)	(2.3%)	(338,257)	—
3	売上高(医用機器)	百万円	(50,662)	(50,258)	(△403)	(△0.8%)	(72,303)	—
4	売上高(産業機器)	百万円	(47,348)	(53,437)	(6,089)	(12.9%)	(66,109)	—
5	売上高(航空機器)	百万円	(20,499)	(27,988)	(7,489)	(36.5%)	(28,737)	—
6	売上高(その他)	百万円	(4,807)	(4,688)	(△118)	(△2.5%)	(6,487)	—
7	地域別売上高【日本】	百万円	143,515	158,996	15,480	10.8%	215,594	—
8	地域別売上高【海外】	百万円	222,108	225,300	3,192	1.4%	296,300	—
9	海外売上高(米州)	百万円	(49,753)	(55,614)	(5,861)	(11.8%)	(70,493)	—
10	海外売上高(欧州)	百万円	(36,319)	(37,313)	(994)	(2.7%)	(48,910)	—
11	海外売上高(中国)	百万円	(78,707)	(70,154)	(△8,552)	(△10.9%)	(99,858)	—
12	海外売上高(その他のアジア)	百万円	(44,329)	(48,651)	(4,321)	(9.7%)	(59,327)	—
13	海外売上高(その他)	百万円	(12,999)	(13,566)	(566)	(4.4%)	(17,710)	—
14	営業利益	百万円	50,747	47,045	△3,702	△7.3%	72,753	73,000
15	経常利益	百万円	52,913	49,158	△3,755	△7.1%	76,895	75,000
16	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	39,055	36,143	△2,912	△7.5%	57,037	58,000
17	1株当たり四半期(当期)純利益	円	132.52	122.94	—	—	193.54	199.97
18	1株当たり配当金	円	24.00	26.00	—	—	60.00	62.00
19	設備投資	百万円	16,408	17,162	753	4.6%	22,480	28,000
20	減価償却費	百万円	13,851	14,496	645	4.7%	18,551	20,000
21	総資産	百万円	622,074	658,241	36,167	5.8%	673,962	—
22	純資産	百万円	454,427	491,458	37,031	8.1%	492,335	—
23	自己資本比率	%	73.0	74.7	—	—	73.1	—
24	連結従業員数	人	14,178	14,519	341	—	14,219	—
25	連結子会社数	社	79	81	—	—	79	—
26	(日本)	(社)	(24)	(23)	—	—	(24)	—
27	(海外)	(社)	(55)	(58)	—	—	(55)	—